

卒業研究発表会·学生&企業研究発表会

卒後一年目研修で利用しております。



新春のごあいさつ

▼International University of Health and Welfare

vol.84 February 20



- 小田原キャンパスレポート 第17回
- 福岡天神キャンパスレポート 第7回
- 大川キャンパスレポート 第21回 7
- 特集1 卒業研究発表会
- 特集2 学生&企業研究発表会
- 訃報 11
- 14 Topics & Columns

平成22年度 市長と留学生の懇談会/国際交流親善パーティ/韓 国・インジェ大学学生来学 研修スタート/ IUHWボランティ アセンター5周年/看護学科FD/看護学科公開学習会/言語聴 覚学科 学科会/視機能療法学科 学生交流会/共生カフェアナ タ×ワタシ=たくさんの可能性/医療福祉学部 小中学生対象の 福祉教育/動物慰霊祭/那須セミナーハウス開設祝賀会/学長 杯英語スピーチコンテスト

【コラム】私のおすすめ本『コミュニティ・オブ・プラクティ ス』福岡リハビリテーション学部 作業療法学科 講師 石橋

- 卒業生・留学生通信
- 国際医療福祉大学同窓会「マロニエ会」総会・幹事会 19
- 24 医療福祉チャンネル774/ お知らせ IUHW Hot News

も、これまで十年余にわたって本学の学院というご評価をいただけているの 在、大学院は六か所にキャンパスを持の発展に多大な貢献をされました。現できるカリキュラムの整備など、大学院 ご功績の賜物です。 術面の統括を担ってこられた開原先生の 医療福祉分野においては日本で有数の大る修了生を輩出するまでになりました。 ち、 本年四月に開催予定の第二八回日本医 六○○名の院生と一二○○名を超え

分野、医療福祉ジャーナリズム分野な専門分野のコースをはじめ、臨床心理学経営管理分野のMBAコース、各種がん

を開設されました。日本でも先駆的なナな分野に加えて、次々に新しい専攻分野全体の運営を担われ、それまでの伝統的

スプラクティショナー養成分野、

医療

ておられたので、本学からもぜひ多数のの医学会総会を、先生は大変楽しみにしらゆる医療専門職が初めて参加できるこしておられました。医師だけでなく、あ あらゆる分野において強力なリーダー方々にご参加いただければと思います。 学会総会では、副会頭として準備に注力

意なIT技術を利用した遠隔授業システウムも多数企画されました。この他、得

れ、分野の壁を越えて様々な講義を聴講ムの構築や遠隔病理診断の研究に尽力さ

S

逝去は、大変衝撃が大きいものでござい逝去は、大変衝撃が大きいものでございずしたが、この悲しみを乗り越え、北島 政樹学長や金澤一郎・新大学院院長をはじめとした教職員とともに、先生がめざされた医療や教育の在り方の実現に向された医療や教育の在り方の実現のございております。

医療課題について議論する国際シンポジた、多くの著名人を講師に招いて開講する公開講座「乃木坂スクール」の創設や、医療ツーリズム、世界の社会保障制や、医療ツーリズム、世界の社会保障制と、先生にしか実現できないような新しど、先生にしか実現できないような新しど、先生にしか実現できないような新し

ある国際医療福祉大学三田病院においてます。また、東京都認定がん診療病院でけ、関係者一丸となって尽力してまいりけました。地域医療のさらなる貢献に向 拡充のうえ、新たにバースセンターを設総病床数は二九三床、NICUと救急を開設の運びとなります。八七床を増床し 福祉大学病院の新病棟が本年四月一日に 関連施設につ いては、 国際医

学教育に関する検討が始まりました。こ昨年から文部科学省の諮問機関により医 した状況を見守りながら、 本学でも

う

ご挨拶とさせていただきます

がら、患者様に求められる質の高い医療カルセンターとこれまで以上に連携しな す。同じ港区内の山王病院、山王メディ的に救急の受け入れも開始しておりま また、 ービスをご提供してまいります。 医学部の設置につきましては、

最後に、本年もみなさんにとって粛々と検討を進めてまいる所存です したよき年でありますことを祈念しなが 本年もみなさんにとって充実

二月からは救急告示病院として、本ぬ現在隣接地への建設が進んでおります。は、本年一二月の新病院峻工をめざし、 本格

成一五年からは大学院院長として大学院平成一三年に本学副学長にご就任、平

者さんを強制隔離する「らい予防法」のれ、ハンセン病・精神障害を持つ方の人権運動指導者として、日本だけでなく世権運動指導者として、日本だけでなく世を強動が進者として、日本だけでなく世 ュースとして報じられました。その後、認める証言をされ、当時とても大きなニだった」と元厚生官僚として国の責任を 年一二月には初代学長の大谷藤郎先生は、相次いで哀しみがございました。昨一方、昨年末から本年一月にかけて 国家賠償訴訟では、原告・被のる判決が確定した熊本地裁の 全国四九○○名のハンセン病元患者さん 人として出廷、「法律や政策自体が誤り だいた御二方を偲び、 原成允先生がご逝去されました。 故・大谷藤郎先生は、 また、本年一月には大学院院長の開 医務局長を歴任されました。先生卒業後、厚生省に入省、公衆衛生局 本学に多大なご功績をい では、原告・被告双方の証した熊本地裁のハンセン病 少しご紹介をさせ 京都大学医学部 開学 して掲げ

長

をご卒業後、

ていただきます

らこれまで、

数の要職を務められました。会長、長寿科学振興財団理恵 藤楓協会」の理事長や、公衆衛生審議会の社会復帰を支援する団体「財団法人 長寿科学振興財団理事長など、 多 れました。 允先生は、 また、

指導いただきました。 一三年からは総長として長きにわれて成七年の本学開学で初代学長、 また、平成五年に わたりご

る就職内定率の下落が社会問題となってることができました。過去最大と言われンキングで、次々と全国第一位を獲得す

いことに、各種メディアの大学就職率ラ

を譲り受けて改修を行っていたもので、ドや芝生サッカーコート・体育館のほドや芝生サッカーコート・体育館のほどを開設することができました。グラウン

すでに国際医療福祉大学病院の看護部が

くこととなります

本学にとりまして、

昨年は大変喜ばし

協力センター長、東京大学附属図書館長数の審議会委員や、国立大蔵病院長、財数の審議会委員や、国立大蔵病院長、財数の審議会委員や、国立大蔵病院長、財 長、日本医療情報動においては、 の際には常に中心となって指導してこられ、医療界のIT化や医療情報政策推進 属病院・中央医療情報部長、 東京大学医学部教授、 ブライト留学生として米国に留学され、 日本医療情報学会会長などを歴任さ 大学院院長であった故・開原成 東京大学医学部卒業後、 東京大学医学部附 WHO研究 フ

が、医療・福祉の現場へと羽ばたいていいい・言語聴覚学科から待望の第一期生はいよいよ、福岡リハビリテーション学はいよいよ、福岡リハビリテーション学学より一六年が過ぎ、まもなく一七年目

しております。をお寄せいただいた賜物と、高さをご評価いただら、たく

じめ、国家資格試験合格率や教育

の質の

廃止に奔走し、

たくさんの求人 心より感謝

研修施設として「那須セミナ

また、本年一月には、

学生や教職員の

ハウス」

学より一六年が過ぎ、まもなく一七年国際医療福祉大学におきましては、

注いでまいります。
は医療に貢献できる医療人の育成に力をしながら、先生のご遺志を引き継ぎ、地いう理念を、私たちはこれからも大切にいう理念を、私たちはこれからも大切に は公衆衛生分野におけるノーベル賞といわれるWHOレオン・ベルナール賞を受賞され、平成一八年には人権擁護活動の尽力者に贈られる「第二一回東京弁護士会人権賞」を受賞されました。生涯を通会人権賞」を受賞されました。生涯を通して人権擁護に尽力してこられた大谷先生が、国際医療福祉大学の建学の精神と 重し合う『共に生きる社会』の実現」と常者も、お互いに人間として認め合い尊 『げた、「病人も障害を持つ人も健国際医療福祉大学の建学の精神と

グラウンドで思い切り体を動かす学生たち

ポーツ大会が開催された。中学校のグラウンドを借りて、 一月二七日(土)、小田原市立城 第五回ス

半だったが、今回は四年主の宣言と、参加する学生は一年生と二年生が大と、参加する学生は一年生と二年生が大と、参加する学生は一年生と二年生が大 った。過去のスポーソトミニューとラタに思まれ、一一月下旬とは 名ほど参加し、 る場面も見られた。 後輩との交流を深めて

ッチが行われた。競技は、し科の学生の主導の下、準備体年前九時半の開会式では、 技リレーのE サッ -ムを編成しての真の順に実施された。 障害物リレー、 準備体操 の真剣勝負がた。各学科・な 大縄跳び、 しっぽ取り、 理学療法学 ス 展各選

ODAWARA Campus report

・ツ大会



た

小田原キャンパス開設以来、毎市民公開講座について紹介したい生の活躍ぶりをお伝えしたが、今

潮風祭が終

「体験型式」、

秋に市民公開講座を実施して

いる。

春

毎年春

た。

教職員だけでなく、

実行委員長のPT 2年岩井さん(左) 実行委員長のPT 2年岩井さん(左) が 実行委員長のPT 2年岩井さん(左) のメンバー ボーツ大会 たに準備 がしてきた。 **進めてきたス** 主体に準備をのメンバーを した直後か

0)

医療従事者としてのマナー、

学科間

事 終了した。

意見に基づき、

今回は、

連携などを学ぶ貴重な場となっている

かける以上に生れ取り組む学生の変 る以上に生き生きとして見えた。 学生生活最後のスポーツ大会に かけつけた4年生 姿は、 小田原保健医療 が少ない。体育館 が少ない。体育館 がかないため、屋 スポー キャンパ -ツに全力でなく、屋外でない。体育館 ス内で見

れまでの実績で、が、今回は土曜日

総合三位 総合三位 看護学科一年チーム理学療法学科二年チーム

44

(学務課 下田岳史)

場代以上であり、夜間よりも昼間の方が外出しやすいとのご意見を踏まえての変更である。その効果もあってか、申込開始からわずか一週間で定員に達する盛況 でよる実技。学生には貴重な体験の場となり、その熱心な姿勢が来場者にも支持されている な 立 に 声 く シュ の ホー

した。学生も各講座に参加し、実技! 理解しやすいプログラムになるよう!

実技では

普段

織り交ぜ、

来場者が講座で聞いたことを

座を行った。来場者は合計の午後にそれぞれ三講座ず

来場者は合計で二五八名。来場者は合計で二五八名。

どの講座も前半は講義、後半

は実技を

二〇日 (土) の午後、

一二月四日 (土) マに、 から学ぶコ

とわざー

」をメインテ

月

イス エ

イジング

ープロ

## 秋 の市民公開講座

ティア活動に積極的に参加をしている学べく努力している。前回の「IUHWベく努力している。前回の「IUHWはするために、地域に役立つ大学であるとつである「社会に開かれた大学」を実とつである「社会に開かれた大学」を実

医療学部の丸山学二日〜三日、保健 学学会」を設立し 学会」は本年九月 国際医療福祉大学 ることが決定して て大田原で開催す 部長を学会長とし 「国際医療福祉大 保健

念誌などの制作 準備を進めているところ 款、 会員名簿、 記

り、

現在、

定

ルスケアリーダー認定証」を手渡しましは、私がひとりずつ握手をしながら「へ内視鏡下手術のシミュレーション、超音波での胆嚢の描出、点滴の準備など、現場に密着した体験をしてもらい、最後には、私がひとりずつ握手をしながら多くの応募があ京都、神奈川県などから多くの応募があ ル」を医療福祉学部の丸木学部長を中心田原キャンパスで「第一回キッズスクー成する一助として、昨年八月八日には大 れた。 企画したもので、栃木県のみならず、東福祉の実体験をしてほしいという試みで に開催しました。 さらに、 **!開催しました。小中学生の時から医療**:」を医療福祉学部の丸木学部長を中心 ぜひ来年も継続させたいという思いこの時の子どもたちの目の輝きに触 した教職員 *の* 体感を醸

に主眼を置きました。その結果、共用試を受け、少人数制によるきめ細かい教育を受け、少人数制によるきめ細かい教育の優秀な学生が入学してまいりました。

保つ好成績を収める結果を示しました。験「CBT」で常に全国一位から二位を

全国的に減少しました。そこで本学で制になったことで、薬学部への応募数は

して奨学金制度を充実させた結果、

奨学金制度を充実させた結果、多く経済情勢などの社会的な背景を勘案

まず、二○○九年度から薬学部が六年に多くのことを経験した一年でした。

いを叶えるべく、 た。

携教育」 じめ全ての審査員が大変感銘を受けまし験から命の尊さを訴えた作品で、私をは れました。 いという思いを綴った作品が多数寄せらた。他にも、将来医療福祉の道に進みた 秀賞二名、 。これは、学生のうちからチー 本学の教育の特色として 最優秀賞は自分自身の脳の病気の体 という大きなテーマ 「関連職種連 、があり

編集作業を進めております 種連携」の教科書を出版するべく、 育法の集大成として本学独自で「関連職 <u>--</u> 一年を展望す るにあたっても、

クール」は今年も継続して実施していき「キッズスクール」や「高校生作文コンに向ける気持ちを受け取ることができた たいと考えています。 多くの 小中学生や高校生から医療福祉

につきましては、今年中の発行。また、「関連職種連携教育」 0)

常々、

つのキャンパスを有しているため、私は

ごました。そして、いよいよその思教職員の心をひとつにしたいと考

また、

本学はご存知のように全国に四

を新たにしました。

ーマに作品を募集し、最優秀賞一名、実施しました。「共に生きる社会」を「高校生作文コンクール」も昨年初め 佳作二名などを選出しまし 年初めて 優 テ

コンセプトを教育するものであり、 ・ム医療 現在 ま

0)

アップさせていくこうでもでしい中にも楽しい一年であった昨年忙しい中にも楽しい一年であった昨年 ルめ

でをご期待の教科書

北島政樹学長

新春のごあいさつ

に向かって具体的にアクションを進めて科長を室長として設置し、これらの目的携推進室を放射線・情報科学科の勝俣学した。そこで、学内に医工連携・産学連 テ 企業との連携により、 ーズを発見してきました。このシー来、各学科における素晴らしい研究 ただきたいと思い ント取得に結びつけたいと考えていま **ら素晴らしい研究のシ** 昨年学長に就任して以 、ます 、製品化さらにはパした。このシーズを

重ねながら日夜努力しております。その成果は着実に実を結んでおり、昨年は複数の情報誌に就職率第一位の大学としてランキングされました。これらの高い就職率は、一万人を超えた卒業生の現場での実績がもたらしたものと確信しております。さらに、国家試験でもすべての学ます。さらに、国家試験でもすべての学ます。さらに、国家試験でもすべての学ます。さらに、国家試験でもすべての学ます。さらに、国家試験でもすべての学ます。さらに、国家試験でもすべての学ます。これも真摯な姿勢と情熱で教育に取り組む教員の努力の賜物と感謝いた 成果は着実に実を結んでおり、昨年は複重ねながら日夜努力しております。その考え、常にお互いにディスカッションを境や教員の教育力はいかにあるべきかを しており 本学は、学生にとって望ましいきたいと考えています。 教育環

学んで、より良い教育環境を充実させたする学生とともに、我々教職員もともに これから医療福祉 と考えております いたします 我々教職員もともに祉の専門職を強く熱望 ので、



前半の講義の様子。多くの人が熱心にメモを取っている

に還元し、

地域の方々の健康づ

大学の

持つ知見を地域社会

つよう市民公開講座を続け、

いきた

高久晃)

声をいただいた。

者からは、「学生さんが一生懸命教えて

くださってありがたかったです」

などの

ることができる機会となっている。来場の講義では得ることのできない体験をす

来場者に直接指導する場面もあり、

地域社会

学部第3期生の全員就職をめざして

成

 $\Omega$ 

いては地域の発展に貢献することを

同じく大川市に立地する唯一の高

祉施設など 医療機関·

0)

大学として、

平成一九年度より、

大川市に立地す 市の教育、

ただこうと考えている。

●高大連携その他に関するお問い合わせ・お申込み

ション学部

「学ぶ楽しさ・知る喜び」を実感して

人材育 る唯 の四年生も各ている。今年

大川樟風高校との高大連携事業

価をいただい

総評を行

った。

おいて、

興味深く受講いただいたようだった。

今後も本学では、この高大連携事業に

のDVDを見せてもらいましたが、 の講義が一番印象に残った」、

凄く辛

などの感想が寄せられ、

来られた講義二回と実体験のことについて

「『全身麻痺』

や技術の修得

せることができるというところに驚いた」、 改善ダイエット』で、運動をしなくても痩

「生後二ヶ月の赤ちゃんと、

そのお母さんが

の専門知識法士として

に積極的に提供し、

时に提供し、高校生の皆さんに大学本来の教育力を地域や社会

価を

と決まってい

等学校である大川樟風高等学校との連携事

一〇月一六日

美

大学祭

(蓮翔祭)

れた大学祭

る。これも一回生たちの創造であり、よがっていこうという願いが込められていかな蓮の花のように、看護の道を翔けあり、蓮翔祭』というテーマは、優しく清ら 担い、福岡天神キャンパス内は明るい笑二年目を迎え、学生たちが企画・運営をが開かれた。福岡看護学部は、開学して き伝統として後輩たちに引き継がれている。これも一回生たちの創造であり、よ 声に包まれた。

来しんでいただこうというねらいがあっ 齢者施設・保育施設の方々にも開放して かブテーマは、長浜地区住民や近隣の高

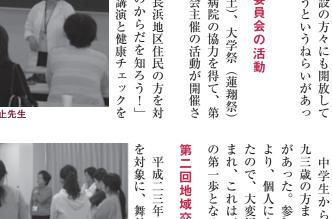
くことと思う。

# 第一回地域交流委員会の活動

れ **→** Ø 中で、 回地域交流委員会主催の活動が開催さ 一〇月一六日 福岡山 王病院の協力を得て、第(土)、大学祭(蓮翔祭)  $\widehat{\underline{\pm}}$ 

象に、 いうテーマで、講演と健康チェックをに、「自分自身のからだを知ろう!」大学近隣である長浜地区住民の方を対







さった。福岡看ちが担当して下の保育士さんた は、豊 最初に濱嵜字部の教員

ナも実施し好評だっクと唾液ストレス度 型を使用し、乳 乳がんの触診模った。その後、

体組成をチェックする参加者

定・体組成測定は本学公開講座委員会の行った。血圧測定・握力測定・骨密度測 た。血圧測定・握力測定・骨密度測

たって、

ッの

ク

チ ク

の第一歩となる大学祭だったと思う。

したいと思う。

にいいと思う。

にいいと思う。

にいいと思う。

にいいと思う。

にいいと思う。

(福岡看護学部

濱嵜真由美)

催を希望する」という要望があった。後もこのような託児付きのセミナーの

· の 開

育

士学生の参加もあり、

参加者は、

母親だけでなく、

参加者から「でなく、父親、

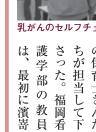
保

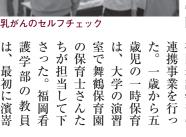
は、 11

今

# 第二回地域交流委員会の活動

成二三年一月八日 舞鶴保育園と福岡看護学部の (土) 育児中 0







を受け、『どんど焼き』に一年生一四名隣に位置する「舞鶴保育園」からお誘い 隣に位置する「舞鳴呆子! 携活動でお世話になった福岡看護学部 は、「上」二日(水)、地域 が参加した。

お兄ちゃんお姉ちゃんらしく、又、少しは、友達の顔を〝チラ見〟しながらも、会った子どもたちの前に立つ学生たち …』の元気な挨拶で開始された。初め合い、『ようこそいらっしゃいまし上げを囲み、年長組の子どもたちと向 た。 朝から雪が舞い散るとても寒い 舞鶴保育園の園庭に集まり、 こそいらっしゃいました年長組の子どもたちと向き

ーマで、

b

よう」という

ついて講演を行 男に伴うイライ 月経周

ライラを解消しが 「育児中の」

いた。焼きの由来について話を聞かせていただ焼きの由来について話を聞かせていただ緊張の面持ちで、玉井園長先生のどんど その後、 たちと楽 三つ のク ラスに分かれ、

間に時間が過ぎ、帰りの時間となった。き時間の参加であったため、あっというがせていただいたのかも?)。講義の空や追いかけっこなどをして遊んだ。(遊に、再び園庭で子どもたちとボール投げ 小正月の伝統行事いまれ、熊手などを焼いて1年の無病息災を願う注:どんど焼きとは、しめ縄などの正月飾りや古まり有意義な地域交流事業であった。 、学生・教員共に心も体もしっかり温中準備から大変だったと思う。帰り舞鶴保育園の先生・園児の皆さんは寒 ル投げ

(福岡看護学部



## 初めて お焚き ・目だっ の連

ま実習中

評価実習

分間の授業を計 医療福祉の世界を体験し た高校生の素直な感想が 「ただい 臨床現場での実習を三回実施する。 習が始まった。同学科では、 理学療法学科 ら四年生夏までの期間、 四年生夏までの期間、六週間にわたるが始まった。同学科では、三年生秋かいよいよ理学療法学科三年生の評価実

を知ろう!! ―脳の働きってな~に」、部キャンパスで行っている。今年も 今年も、 「やっ 本学 脳

应

大川キャンパスレポート

学療法士、

作業療法士、

. 言語聴覚士を求た。本説明会は理

0)

「卒業研究発表

就職説明会」を開催した。

ション学部講堂において、

学内就職説明会開催

理学療法学科

卒

業研究発表会実施

タッフが講 本学部のス

**「目指すはプロのセラピスト!」** 

一〇月から一

月にかけて、

福岡リ 「学内

九

日

「医療・福師を務め、

等在企大学 - 大川市在五年中 連携教育 修了式

祉の世界」

を全体テ

「目指せ!

全員就職!

担当者やリ

ハビリテー

・ション部門担当者

三名。

選択科

研究」では、希望の

もある、この「卒業

今後も研究心は持ち続けて活躍してほしい

義を実施した。講義の最終日一二月九日持って生きるとは」など、約九ヵ月間の講

てみよう…筋力トレーニング…」、

「障害を

研究分野に分かれ、

ーマの選定、

方法

人している医療機関・福祉施設等の人事

年度の卒業研究に取

組んだ学生は総勢

会」が行なわた。

今

心のあるブースを訪ね説明を受けた。の。施設ごとにブースを設け、学生は関求人条件などについてご説明いただくもま大条件などについただき、施設概要やに大学までお越しいただき、施設概要や

よかった」「希望したい施設が見つかっからは、「いろいろな施設の話を聴けてなど、関心の高さがうかがえた。参加者

究を行う。

発表を行

なう

年間かけて担当教員の指導を受けながら研

論文の作成方法などについ

質問したり、説明内容をメモしたりする学科合わせて一五八名の四年生が熱心に

表方法、論

成果の発 研究結果

了証が手渡された。

受講した高校生の皆さんからは、

『体質

実習を通し

て、理学療

(兼福岡リハビリテーション学部長) より修

修了式を実施し、満留昭久副学長

を上回る四九施設にご参加いただき、

 $\equiv$ 

論の設定、

今年は関西地方から九州南部まで昨年

た」という声

が聞かれた。

は真剣そのものであり、

であり、学生同士で熱心学生も聞く学生もその姿

本学は、「サンデー

·毎日」、「PRES

ンキングされ、

D E N T

され、「就職に強い」大学とし○九年度就職率全国第一位にラT」の大学就職率ランキング

いくための常に研究心を忘れずに」とのは、必ずこれからの実践に役立てていけな、必ずこれからの実践に役立てていけるだろう。また、より良い治療を行ってと質疑応答や議論を交わした。担当した

実習先は、高木病院や柳川リ年生では総合臨床実習となる) ープ施設 ション病院、 福岡 :山王病院など



地元のテレビでも放映された実習の様子

付けることが狙いである。てのマナーや仕事への考え てのマナーや仕事への考え方なども身にんとのコミュニケーションや医療人とし

ずぎこちなかった学生たちも、 とれるようになってきたようである。 んとのコミュニケーションをスムーズにむにつれ、緊張しながらも徐々に患者さ 実習が始まった頃は、 、緊張しながらも徐々に患者さなかった学生たちも、実習が進始まった頃は、不安を隠しきれ

この実習の様子 (九州放送) 昨年 で特別番組とし

:『未来を拓くセラピストたち 0) 道

番組名

て放送された。

国際医療福祉大学・医療人

(入試・広報部

# 0 9 9 4 4 4 - 8 9 - 2 0 0 0 1

 $\overline{o}$ 

受講希望者

貴重な機会となった。

強く卒業論文の執筆を行

## 看護学科

## 今井栄子

われている通年科は ループを編成して取り組んが興味のある領域を選択、 示して、研究ゼミの概要を説明し、学生時に各教員が研究領域と keywords を明 当学科の プを編成して取り組んできた。 いる。四月のオリエンテーション科目である「看護研究ゼミ」で行 卒業研究は四年生を対象とす 八人ほどのグ

を目標としている。中には作成した研究るような完成度の高い研究計画書の作成成をし、例えば、卒後、すぐに使用できーマにより領域に特化した小グループ編 看護は対象を人間の全体性とするた 成人慢性期・老年・地域・在宅・精領域が基礎・小児・母性・成人急性 看護管理など多岐にわたる。 研究テ

し、学科長との当科目調整の時に新たに今年度、学科長に福島道子教授が就任計画書に基づき研究を行う学生もいる。 進めることとした。各教員の計画に沿って従来と変わり を設定した。実施する内容そのものは、 「看護研究ゼミ・研究計画提出の基準」 なく

> が何人かいて学生ともども少々頭を抱えを設けた。ここでは、先が見えない学生て九月にプレゼンテーション・中間発表ー作成・グループデイスカッションを経 の絞込み、生私のグルト 護研究計画書が出来上がり全員提出するープ指導を経て締切り前には、規程の看 転 ことができた。 た。それでも学生・教員共に一〇月・ ら、何度か個人指導や二・三人のグル一月に臨地実習の合間をぬってフル回 先行文献検索・査読・サマリバープは、四月・五月のテーマ

## 理学療法学科

## 俊典

表する、 習、 業 る 〇研 国家試験に続く一大イベ | 究発表会が行われた。 一月一〇日 (水)、平成 ヶ月間取り組んできた研究内容を発 四年生にとっては総合臨床実 た。二月から約-成二二年度卒 ン トであ

今年は口頭発表一九演題、



卒業研究の集大成である

ポスタ

を持ってほしい を持ってほしい との趣旨から 一、二年生にも が、授業のなか が、授業のなか は、将る。 参加した。 将来の自分

した成果として、発表は聴衆目線に合っまなければならない。何日もかけて準備くない時間に一○ヶ月の集大成を詰め込 ョンを展開した。七分間という決して長ナリティあふれる研究とプレゼンテーシ表一二演題の発表があり、どれもオリジ たかなり ベルの高いものだったと思 どれもオリ

いっても、 応用していってくれればと思っている。て発見・確認したことを再度臨床活動にとを思い出して、自らの手で根拠を示し とを思い出して、自らの手で根拠を示しう。そういう時には、この卒業研究のこ

## 視機能療法学科

**六研究班から** 

わ

大学を卒業 様々な疑問や発見があると思入学を卒業して臨床で活動して

## 視機能療法学科の第六 靱負正雄

思う。

同時に、三報告会は、 に行う場として して出席し、 期生の卒業研究報告会が行 三年生が次期卒業研究の参考と 教員による審査の 発表に対する質問を積極的 H われた。この 場であると

本年度

でき、達成感を味わうことができたと思たちはいずれも一定の結果を出すことがしたものまでさまざまであったが、学生 したものまでさまざまであったが、学生を評価する全く知らなかった技術を使用 **査技術として習得した方法から、が報告された。研究手法は、これ** これまで検 脳活動

8

ろう。「内容が全くわからない」と感想解決も含めて)が思い起こされることだ も見えた卒業研究報告会であったようになければという将来の自分の姿が少しで 生になったときにはこのようになっていを語った一年生にとっても、自分が四年 中で経験したさまざまな問題の解決(・働く際に、何かにつけ卒論研究を進め) 今後四年生が就職して視能訓練士と総評の中でも触れられたが、おそ れる。 おそらく ( 未 る

## 放射線・ 情報科学科

## 小池貴久

ら四年生まで三六○名を数え、ポスター発表があり、参加者はれた。一二演題の口頭発表と八 熱気に包まれ盛況な会となった。 めてきた研究の成果を発表する場として 一二演題の口頭発表と八四演題の月三○日に卒業研究発表会が行わ 参加者は 一年間進

は自分の主張、考えをしっかりと伝え、の成果が現れた内容であり、質疑応答での究発表もこれまで積み重ねてきた努力することを目的とするものである。どのでのプロセスを経験し研究の基本を体得 学生たちにとっては少し先の活発な議論がなされていた。 画の立案・実行、 卒業研究は、 テ アーマの決定から研究計のな会となった 論文のまとめなど、 下位学年

## 第七回

## 業 研 究発表

医療福祉・

マ

ネジメント学科

D 棟 の五

つの教室に分

若倉健

か

してくれることを期待したい

とを卒業後の学会や研究会などの場で生

11

る

卒業研究と今回

の発表会で経験したこ

かれ、医療福祉学科第一一期生の卒業論がれ、医療福祉学科第一一期生の卒業論がれ、医療福祉学科第一の目の発表会が開催された。この日の発表会が開催された。 今年で 七回目とな

い、論文を完成させた六二名の四年生い、論文を完成させた六二名の四年生からが十分に生かされ、緊張しながらも自分が十分に生かされ、緊張しながらも自分の考えや主張を述べ、教員や三年生からの考えや主張を述べ、教員や三年生から 各会場とも活気に溢れていた。 いた。発表者のこうした真摯な姿勢に、の質問に対しても臆することなく応えて

績を収めた。め、銀賞二件、

個々の興味関心に基づいて行われ、研究 の方法論や研究テーマが多様であるため、改めて社会福祉学の「おもしろさ」 に気づかされた。同時に、社会福祉学の できる発表会であった。発表後、四年 を関としての深さや広さを認識すること のできる発表会であった。 できる発表会であった。 のできる発表会であった。 各学生が取り組んできた研究は、 学生

する手助けになったかと思

の実施が伝統となっており、発本学科の卒業研究発表会は学

て欲しいと願 験を糧に、研究することの楽しさや意義 大学卒業後も、 何ら 今回の卒業研究での経 かの る。 形で研究を継続し

得し有意義な経験ができたものと感じてもあったことと思うが、多くのことを体など、全てを学生自らが手がけた。苦労

備、会場の設営、

発表会での司会・座長

発表会の準

体で

# 会

化し、

れもポスターセッション)の参加があ頭発表二九件)、三企業から三件(いず五七件(ポスターセッション二八件、口素創造プラザで開催された。九大学から素(学生&企業研究発表会」がとちぎ産

め、銀賞二件、入賞一件を獲得する好成金賞」「栃木県経営者協会賞」をはじ 厳正な審査の結果、本学は「口頭発表、、参加数はおよそ三四○名に上った。 今後学生たちが受賞を励みとして大い今後学生たちが受賞を励みとして大い

## . 頭発表

## ●金賞

受賞者の皆さん (上:ポスター発表、下:口頭発表)

行動薬理学的研究』『抑肝散の抗ストレス効果に関する

## 薬学科

熊谷利沙、 土子雄太、 小池直輔、 鈴木貴勝 神崎愛実



発表が見事 した 金賞を受賞 薬学部生

散がストレ は、 発表内容 漢方薬

神疾患に対して有益 ための生理 ための生理

高い評価をいただいた。 成やプレゼンテーション能力につ評では、発表内容とともに、スラ られた期間で実験を行い、得られた結果あった。学生たちは実務実習の合間の限な効果を与える可能性を示唆するもので を協力してまとめ発表した。 スト 閉会式の総 スライド いても

# ●栃木県経営者協会賞

(薬学部

准

教授

辻稔)

## 振り向き動作プログラ『屋内転倒に対する ムの開発』

## 理学療法学科

渡辺絢子 竹下隼也、 中野徹、 安藤あきな、 長井真弓、 深瀨雅人、 北村美和、



おいて栃木県口述部門に を受賞した。 経営者協会賞

ŋ 倒予防に関す 業における転 は介護予防事 る研究で このテーマ 原市との連 栃木県大研 究 で あ

携が実を結んだ結果であると改めて実感

田

原市

った結果、約六割が屋内転倒であったこおける高齢者の障害受傷形態の調査を行大田原消防署の協力の下、大田原市にしている。 とが判明した。この転倒状況の背景とし 屋内での 向いことが考えられい。ふとした拍子。 れ、、振り、に転倒す

報告 を変化させる要素を含んだ運動が転倒予向き〟といった体幹回旋により重心位置 割(九名中七名)が継続でき、転倒率が年間の介入研究によって、参加者の約八 介入期間中屋内で発生 防に有効かを分析した。その結果、 しなかったことを 約半

事業を通じてご協力いただきました皆様 寄与できるよう学生と一緒に邁進して きたいと考えている。大田原市介護予防 に改めてお礼申 この受賞を機に、 し上げます 産学連携の発展へと

(理学療法学科 講師 金子純一朗)

## ●銀賞

被介助者の下肢関節負担の比較」 異なる移乗動作における

三学療法学科

須藤知哉、 遠藤佳章 高橋由里、 岡部高明 山口茜古手礼子、



どに持ち上げて移乗させる動作である。 る高齢者等を車いすからベッド、便座な を乗介助動作とは介助者が介助を受け 便座な

> 回、卒研のメンバーは介助を受ける側のみに着目して研究が行われてきた。今なることから、これまで介助者の負担のこの動作では介助者の腰部負担が大きく 異なる移乗介助動作を比較すると介助を負担について研究疑問を持ち、三種類の らかにした。 受ける側の負担にも違いがあることを明

でき、 **躍することを願っている。** て卒業してからも臨床や大学院などで活 が卒業研究で培った研究の思考を活かし その成果として、 てメンバーは努力を続けてきた。 の方々であったため、 レゼンテ 審査員の方々 大変嬉しく思っている。 は努力を続けてきた。今回はション」を作ることを心がけ は医療福祉の 銀賞をいただくことが 「誰でもわかるプ 専門家以外 メンバー

(理学療法学科 講師 勝平純司

間、

## ●銀賞

おける心理的特性の分析』

医療経営管理学科

鈴石彩、鈴木千文、 永井沙織 佐藤志緒里、 木下唯、 髙橋美穂 白根亜希子、

質の向上、安全管理への取り組みに療報酬の査定・返戻対応にせよ、医療認識が一般的かもしれない。しかし、 院のお金の出入りがわかる人」くらいの系の中で学んでいるが、大学内では「病医学系、情報系の分野を統合した教育体 医療経営管理学科の 学生は、 経営系、 組みにせ 診



病院経営 実際

になる。

く彼らの未来に心からのエールを送りた輝かせる学生たち。まもなく巣立っていの矢のような質問がうれしかったと瞳を いと思う。 を得て、研究発表の場では、 務能力認定試験に合格している。 情報管理士 研究発表を デ タ収集と分析に打ち込み、 資格を持ち、

## ●入賞

野村美香、渡辺美佳 阿久津豊、 原井美香、 佐藤司

写真フィ

識背景が相は医学的知 当程度必要

ナールは 療者として 関口ゼミ

±たちは全員が診療で、今回、 診療報酬請求事 ざすハイブ 薬学部学生 の医療事務 リッド集団 職養成をめ 成果 二年

(医療福祉・ マ ネジメ 関口潔)

『正常者における color contrast sensitivity

視機能療法学科

伝送系等



度検査に興味を持ち、正常者を対象に行ていることから、カラーコントラスト感黄色背景に青色視標の視野検査が行われれる。彼らは緑内障の早期発見の目的で 実験方法の立案、予備実験 も少ないようである。テー 床では行われておらず、温 象的だった。昨年一一月から約一年に堂々と的確に受け答えしていたの った。 臨地実習の合間を縫って一生懸命頑張っ 自ら行っただけあって審査員たちの質問 段としてコントラスト感度の測定が行わ モジュレーション伝達関数が使われていの像を伝送するシステムの評価法として た成果が得られた。 る。視覚系ではこの伝達関数を求める手 カラーコントラスト感度検査は臨 予備実験も全て彼らが 拍手 過去の研究報告 マの選択から 年間、

(視機能療法学科 教授 山田徹人)

昭 略 歴 平 昭和六三年 昭和四七年 昭和三四年 昭和二七年 学部の 復帰を支援する活動に従事 四九〇〇名のハンセン病元患者の社会 られる財団法人藤楓協会理事長。全国和六三年 高松宮妃殿下が総裁を務め 者の治療と研究)と出会う 八年 三年 小笠原登助教授(ハンセン病患 医務局国立療養所課長 厚生省入省 生涯の師となる京都大学医 京都大学医学部卒業

生が平成二二年一二月七日にご逝去され

本学初代学長・

名誉顧問の大谷藤郎先

福をお祈り申し上げます。 生前のご厚誼に深謝し、

謹んでご冥

ました。八六歳

平 成 平成一三年 平成一八年 館長。 戍 賞を受賞 評価され、 本人として2人目の受賞 レオン・ベルナ 五年 七年 ・ベルナール賞(WHO)を日公衆衛生におけるノーベル賞・ 高松宮記念ハンセン病資料本学設立準備委員会委員長 第二一回東京弁護士会人権ハンセン病患者支援活動が 本学総長 本学学長

平成二〇年 本学名誉顧問

木邦格理事長弔辞

(一部を要約)

ンセン病・精神病・エイズ・難病の艱難 職を務められ、 動の指導者として世界に知られておりま ~』『医の倫理と人権~ 支援団体・藤楓協会理事長など多数の要 に尽力され、 大谷先生は医療福祉専門職の地位向上 ハンセン病元患者の皆様の社会復帰 らい予防法廃止など人権運 多数の著書を残さ 『現代のスティグマ 共に生きる社会 れ まし

われました。国際医療福祉大学の合同葬をもって執り行都青山葬儀所において、大谷家と学校法人葬儀は一二月一一日・一二日の両日、東京

成五年に公衆衛生分野 0) ベ

> 策の間違いを勇気を持って訴えられた毅ンセン病問題に力を注がれ、国の隔離政 賞、 とい 然とした倫理観に敬服しております。 賞」を受賞されま た人に贈る「第二一回東京弁護士会人権 平成一九年に人権擁護活動に尽力し われるWHO した。生涯を通して レオ 」国の隔離政 ベ ルナ

> > 谷先生、本当にありがとうございまし感謝し、ご冥福をお祈りいたします。大上を教育理念に掲げられた先生のお陰と土を教育理念に掲げられた先生のお陰と

だきま かれました。開学後も、医療と福祉の学ンパスで学ぶ教育環境が必要であると説 設。大学の基礎・基本理念を作 っしゃり、平成九年に医療福祉学部を開部が揃わなければ学長を辞するとまでお と考え、医療と福祉の専門職が同じキャ「共に生きる社会」を基本理念にすべき 互いに人間として認め合い尊重し合う 学設立の準備を始めた頃でした。 大谷先生に初めてお会い 病人も障害を持つ人も健常者も、 したのは、 9 て 先生 いた

活躍しております。 万人を超す卒業生が医療福祉の現場で現在、本学は学生数六千人を超え、 これも 「共に生きる



レオン・ベルナール賞の受賞祝賀会(1993年)

大学での講義 (2002年)

IUHW 2011.2

謹んでご冥福をお祈り

いたします

(医療福祉総合研究所

山幸治

活の、

4した。胃がんの手術に初めて成功精神分析のフロイトなどが同時代に

がにしていただければと思います。

恨の極みですが、

先生を偲んで

れたことが強く印象に残ります。るように思われて困るな」とおっしゃら

した形でご紹介す

ることは痛 いただく

> 首都で、 当時はオー

た。

、レレン

ろ、先生は面映そうに「いつも遊んでい

生が平成二三年一月一二日ご逝去されま本学大学院院長・副学長の開原成允先 した。七四歳。

ダ

ĺV

を授与



国際医療福祉大学の合同葬をもって執り行大本山増上寺において、開原家と学校法人葬儀は一月一六日・一七日の両日、浄土宗 われました。

昭和三六年 病院に留学 米国ジョ 大学 子医学部卒 ホプキン ス

昭和五九年 昭和五八年 属病院中 央医療情報部 世界保健機関 東京大学医学部教授。 同附 研

平成 元年 WHOから国際保健への貢文部省学術審議会専門委員

究協力センター長

平成一七年 平平平平平平成成成成成成成成成就 会頭(平成二三年四月開催)平成一九年 第二八回日本医学 平成二三年 委員長。 保障審議会専門委員 ズ・ジャパン理事長。厚生労働省社会 ク 一 三 九 八 六 年 年 年 年 ービス産業創出調査事業推進委員会二二年 経済産業省医療・介護周辺 二年 ナ ルド 公益財団法人ドナルド 本学大学院院長 本学副学長 国立大蔵病院長 東京大学附属図書館長 日本医師会最高優功賞 ハウス・チャ 名誉教授

## 高木邦格理事長式辞 (一部を要約)

座長

院に搬送いたしました。その後、懸命の置をしたのち、国際医療福祉大学三田病れられ、至急私どもの山王病院で応急処会において司会をされていた最中突然倒 眠されました。 ご家族に見守られながら、 手当の甲斐なく、解離性大動脈瘤により 二日午後一時頃、 午後八時に永 大学院の教授

されました。現在大学院は学生数六〇〇先生しか実現できない新しい試みに挑戦新しい専攻分野を開設されるなど、開原と、従来の伝統的な分野に加え、次々と 展してまいりました。これも先生の豊富祉分野において日本で有数の大学院に発 平成一五年に大学院院長に就任される 修了生数一五〇〇人を超え、 医療福

同国際医療交流調査研究事業 第二八回日本医学会総会副 ティ

ただいておりました。野においてリーダーシップを発揮してい野においてリーダーシップを発揮してい 総会の開催を大変楽しみにされていましはじめて全医療職種が参加できる医学会 いらっしゃいました。医師だけでなく、会総会の副会頭として準備に力を注いて た。また、 最近では、

いました。 冥福をお祈り 導に心より感謝いたしますとともに、 ろでございます。これまでの先生のご指きく、大学全体で途方にくれているとこ 本当にありがとうござ 挨拶とさせていただき ۳



学位記授与式での大学院院長式辞(2008年)

な企画力と行動力の賜物です



四月に開催予定の日本医

本学の医学部設置準備委員会

それだけに、突然のご逝去は衝撃も大

医学的にも証明されている。し、免疫力を高めて健康にも り笑ったりすることが、ストレスても楽しい。楽しい気分になっ上質のオペレッタは何度観 初め、こうしたオペラが多数作られた。 、免疫力を高めて健康にもい 作曲家のマ ーンでは一九世紀末から二〇世紀 独特の ーストリア -ルの他、 〈世紀末文化〉 ーラーやシェーンベル 画家のクリ :ハンガリ いいことはーレスを解消 ムト が栄え やシ た

のでした。それを先生にご報告のとこ載を画策し、掲載されるはこびになった報をしたいと思い、「IUHW」への転

かりやすく説明されています。なお、この作品を捉えると同時に、時代背景を分大ファンである先生が医師の視点からこー・ウィドー』のプログラム。オペラの 深かった。 大学で教鞭をとり、 ウィ ード法の発案者ビルロートもウィー、今でも胃の手術に使われているビ ン文化の一つであるオペ ブラー ムスと親交が ラや

ン

ッタには恋の駆け引きの手段で 場人物の入れ替 ー・ウィドー』では的なことに気付く。 ハンナがヴァランシェンヌ と入れ替わる。 の先輩モーツァ 後輩リヒャルト・シ ュトラウスでもウ --』では主人公に気付く。『メリ 見られる。 (入れ替わした作品に わり〉 り〉が多く ンを舞台に ウ ィ ー が効果 ルト、 こう 〈登

ると考え、 ツェック』の医師は、主人公にそら豆以いうこともある。作曲家ベルクの『ヴォ法と考えられ、催眠術をメスメリズムと 「磁気療法」を行うメスメルという医師で生き返らせる。当時のウィーンでは 「磁気療法」と「で生き返らせる。当時のウィーンではで生き返らせる。当時のウィーンでは の医師である。モーツァルトの『コ職業柄、もう一つ気になるのは、 いかがわしい治療法だが、 せ磁気を補給す が一世を風靡し トゥッテ』の偽医者は、恋人がある。モーツァルトの『コジ・ 暗い部屋で患者に鉄棒を持た る暗示をかける。 た。病気は磁気不足によ 一種の催眠療 今で 劇中

> つ 台本を書いたビュヒナーは医学者でもあ ではこのような人体実験はないが、この をもたらすことを証明し 外を食べることを禁じ、 たので、 私は大変気になるので 偏食が精神異常 ようとする。 ある。 今

全く書かなくなった。ウィンナ・オペレは戦後まで生きたが、以降オペレッタをヤ人作家たちは救えなかった。レハール た。 うな楽しいオペレッタは生まれなかっッタの黄金時代は終焉し、二度とこのよ 夫人はアウシュヴィ てナチズムが台頭する。 さて、 、彼のオペレッタの台本を書いたユダル作品を好んだため、ユダヤ人である」 人作家たちは救えなかった。レ人作家たちは救えなかった。レ、彼のオペレッタの台本を書い 第一次世界大戦が勃発。 ハンガリ オペレ 帝国は崩壊し、 タは生まれな ヒトラー オース はレ やが

になれば、てほしい。 を たくさん作られ、 二一世紀は、 生きてい その意味で、 皆がそ 健康にもなり、 く元気も沸いて 持って また楽し それを観てど、上演される時代になっ、上演される時代になっ 今回の二期会の公演に 困難な世の中て楽しい気持ち くるであろ 気持ち

と思います。また、この評論は本学副学から入門者まで大いに喝采をされたことフレットを読んだオペラファンもマニアは稀で、大変感銘を受けましたが、パン

クの評論でこれほど興味を引かれたことを強く感じました。個人的にはクラシッですが、オペラに対する並々ならぬ愛情

医学・医療史に関するご造詣はもちろん

お話がありました。早速拝読し、

先生の

読んで感想を聞かせて欲しい」との

ラ公演のパンフレットに評論を書いたのその際、先生からは「今度二期会のオペ

話をさせて

いただく機会があり

昨年一

二月に先生とオペラの

お

ただいています の要約文は生前、

開原先生のご了解をい

 $\sim$ 

レ

稿になったと思われる、

ある評論をご紹

学問以外でかつ不特定の方に対するご遺開原先生のあまたの著作のうち、純粋

「メリ

ウィド

劇場、

・ウィドー』のプログラム。オペラの場、レハール作曲のオペレッタ『メリー一月に上演された東京二期会オペラ

頂く本学の名を一層高からしめたと感じ識と教養の深さが窺え、先生を副学長に長の名で寄稿されていますが、先生の学

寄開稿集生

性だけではなかろう。

遺伝因子にも配慮する医学者

0

ン気風に着眼するのは、

た脈々としたウ

ました。そこで皆さんにこの文を是非ご



# 市長と留学生の懇談会平成二二年度

須アスリ

開催され

で

た

市長、 長と留学生の懇談会が開催され、エディングリゾートで、恒例の大 ○月二八日、 矢澤秘書係長、 大田原市の 齋藤広報公聴係

東京青山の留

大田原及び

留学生に対する労いの言葉とともに、 市長からは、 、学生課長が参加した。本学から留学生一年生二名、 故郷を離れて勉学に励む 二年生

か交官に 外交官に をたくさ 田原で良



えること 身国に伝

もりで出

国の衣装で参加する学生もいた

員に加え、津 島学長をはじ めとする教職

会となった。 生、那須塩原市にあるア久井富雄大田原市長やよ

数々に、 マンス、 イラーさん 穫の踊り、 さんのインドネシア歌謡パフォ

大田原市からは開学以来、市内在住のだけ対処するとの回答をいただいた。増設等の要望が出され、市長からできる頃の配慮に対する感謝とともに、街路に

市長からできる

市内在住の

た。

留学生からは、

への格安料金での入居、月一万円の奨学留学生に市営バスの無料パス、市営住宅

金 (一・二年生)

など、

優遇措置をい

(学生課

高石和秀)

後さらに多くの方の参加が望まれる。ける国際交流の一大イベントとして、語り合って交流を深めていた。本学に の方の参加が望まれる。 として、今。本学にお 大いに

(国際室 高石和秀)

# 国際交流親善パーテ

[際交流親善 ・ティが那 ヤン ス恒例



一三〇名の参加を得て近年にない盛大な生等をゲストに迎え、二一か国から約生、那須塩原市にあるアジア学院の留学

穫の踊り、本学留学生のテティ・ファテジア学院の留学生たちによるインドの収杯に続き、本学ジャズ研究部の演奏、ア 茶道表演等々豊富なアトラクションの 参加者は大いに食べかつ飲み、大いなに、会場は大いに盛り上がった。 :に続き、本学ジャズ研究部の演奏、ア大田原国際交流会の後藤秀雄会長の乾 葛萌さんと李剣さんによる中国

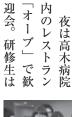
## 研修スター タートインジェ大学学生来学

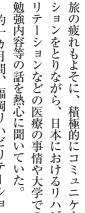
る 学科長キム・ミ 名と作業治療学科六名の学生、 学から研修生を迎えた。 外提携大学の韓 年明け間もな ヒョン教授、 教授の総勢一二名で 物理治療学科四 作業治療学 ンジェ) 物理治療

に自己紹介な歓迎式。本学 研修生は何回もの まず 本学の

ŋ

語も大変堪能だ ベーションも非けあって、モチ 常に高く、 ションも非 日本





い。 (国際交流室室長 え意しながら、有意義な研修になどの研修メニューをこなす。  $\lambda_{\zeta}$ 学部・福岡看護学部をはじめ、高木病 の研修が続いている。院、柳川リハビリテー 約一カ月間、 (国際交流室室長 当)、有意義な研修に 福岡リハビリテ してほ ・ショ



研修の模様は、次号で紹介する予定ですので、

お楽しみに

せられる依頼は年々増えて五年間でらも高く評価されており、センターに寄本学学生のボランティア活動は地域か

本学学生のボランティくりに努めてきた。

コミ

る学生 五九八件、

在、公式に登録されているボランティ

大学での

**臨床現場の体験やディスカッション研修が続いている。施設見学はもちろ棚川リハビリテーション病院などで** ション病院などで 健康に留

# 五 周 日 年 H 二〇一〇年

昨年に続き、 ができた二○○五年にはす なボランティ えるボランティア

本学では、

開学当初から学生の自主的

ア活動が盛んで、

セ

ンタ

四を超

センタ

- は開設五周年-- 一 ○ 月、 I U

を迎えた。

W ボ

ランテ

抜けてきただ 介から始まった。インジェ大学本学の教職員と研修生がお互い尚リハビリテーション学部内で 研修生選抜試験をくぐ

促進するため、セン本学の特徴をさらに

していた。こうした

クルが活発に活動

間の連携を図る「ボの開催や、サークル

い、ボランティア活動をしランティア連絡会議」の組

やす

い環境づ などを行 の開催や、

サ

のボランティア講座 ターでは入門者向け

ボランティア活動は本学の伝統。

ンティアサークルに所属している。サークルは二一。八五七人の学生がボラ在、公式に登録されているボランティア在、公式に登録されているボランティアは、これに延べ二七○○人を超え五九八件、これに延べ二七○○人を超え る社会の実現」のために、 進していく。ボランティア ころからできる活動。まだボ 今後は、 より地域に根ざした活動を促 ボランティア

をしたことのない人もぜひ一度セ を訪ねてください 最も身近なと は「共に生き ・ランテ ンタ

(-UHWボランティアセンター 長

## 看護学科FD

抄読会および講義・演習を通してイブラウンデッド・セオリー・アプ ・アプローチの

究方法を企画した。 として様々な企画を行ってお 看護学科では、 アンケート結果で要望の多かっ 毎年、 行っており、今回、生涯学習係がF た研

だいた模擬データを使って、夂の概要について理解を深め、車グラウンデッド・セオリー・ァ して当日に臨んだ。 った。事前に教員による四回の抄読会で イグヒル滋子先生を招いて学習会を行 一〇月二日、 アプロ ーチの第一人者で 一人者である戈木クワンデッド・セオリ 事前にいた 事前にいた

を解決することがで、この人がを行った。教問回し、直接アドバイスをいただき、疑問員同士で分析を進めている間に先生が巡りによる。教 ープワークでその後の分析を行った。教命までだったので、学習会では、グルた。事前の模擬データは分析プロセスの ・ / - トを置いて名前でやり取り促進するために、各教員の机の前にネ・当日は、先生と / ・ ンを

模擬デ そうなるのかといった問いが浮かび上がながら差異を確認するなかで、「なぜ」ていただいた。自分の分析結果と見比べ り、その点がディスカッションの論点に 最後に、 て、自らの課題を発見する機会を持つなり理解が深まった。講義や演習を通 った。 今後の研究活動 戈木先生ご自身が分析した、 の分析プロセスと結果を示し への大きな刺

携について講演をいただいた。

回の学習会では、看護職を中心に社

問看護ステーション副所長の田中ている日本訪問看護振興財団あす

看護学科 講師 糸井裕子

参加もあり、

七〇名を超える盛況で、

講

会福祉士や理学療法士の方、

また学

生

からも活発な意見交換が行われた師の具体的な事例を交えた話に、

参加者

# 看護学科公開学習会開催

に 意思を尊重する退院調整と支援」という つ 看護学科公開学習会を、 よりよい療養生活を送るための支援がん患者が自ら療養の場を選択で マで、 いて考えた。 病院から在宅への移行におい は、 、「がん患者の一一月二七日

がん看護専システム作り り組んだ大田原赤十字病院の退院調整のら退院支援・調整を巡る現状や共同で取はじめに看護学科の福島道子学科長か 0 経緯等の話があり、 次に

ための中枢神語聴覚療法の

生による講義が行われ 経系の機能と解剖」

た。画像を多く示

と題し、

内田

信也先

行われた。

一言

学科会総会と

言語聴覚

・後研修会が

学科会のますますの発展を誓って乾杯

マロニエ

言語聴覚学科

学科会

 $\bigcirc$ 

会当

三の会



耳を傾け

で、門

り、

生から訪問看護師の立場から病院との さらに訪問看護の第一線で活躍され い田中道子先 連 活発な意見交換の一場面 をとりながら、先輩・後輩の枠を超えて懇親会が控えているため、ここでは軽食の音頭で乾杯。夜にはマロニエ会総会と学科長からご挨拶をいただき、近藤会長 開催しており、 情報交換する姿が見られた。 これもひとえに、学科の先生方の「女催しており、今回で一二回目になる。 言語聴覚学科会は、毎年卒後研修会を 昼には懇親会が行なわれた。 藤田郁代

と二人三脚で学科会を発展させて 指導に感謝す るといっても過言でない。これまでの業生を大切に」との思いに支えられて これまでのご 今後とも学科 いきた 卒

(言語聴覚学科 助教 谷合信一)

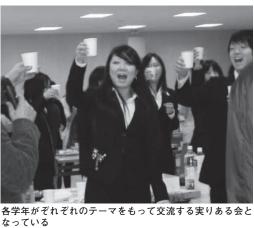
# 視機能療法学科 学生交流会

年二回 二〇〇名が参加する大イベントである。 能療法学科の学生交流会が開催さ 本学科の全学 (四月と一二月)の 那須アスリ 生と教職員の総勢 恒例行事であ - ナで視機 n た。

学習面でも情報収集の良い機会となっ業研究ゼミを決めたばかりの三年生には た。直前には卒業研究発表会があり、卒通じて輪を作るなど大きな成長を見せ た。 情報を集め、先輩と繋がりのある友人を た一年生が、 四月には緊張気味に会話を交わ 今回は積極的に上級生から してい

ある「交流」 夫され盛り上 余興が盛り込まれるなど、企画もよく工教職員のプライベートが明らかにされる主催は二年生。景品も多く準備され、 を実感できた会であっ がり を見せた。 会の 目的で た

業生も熱心にメモを取りながら、講義に日の臨床から活用できる内容で、どの卒柄まで丁寧説明いただいた。まさに次の人、基本的な知識の確認から実践的な事



(視機能療法学科 助教 四之宮佑馬)

Wボランティアセンタ

## アナタ×フタ 共生カフェ タ ×ワタシ= たくさんの可能性

たくさ

○月一六日

0)

「風花祭」

で

「共生<sup>·</sup>

カ

を開催した。 題したイベント んの可能性」と

たちが考えた、 っかけは、学生 カフェのよう イベントのき

等でする。
というアイデア。
というアイデア。
ということがもっ できる場を作れば、 な雰囲気で気軽に障が を持つ方と交流

ードル無くそう!」と題したグループセッベり」をする「ハートでしゃべってハカフェのような気軽な雰囲気でこれからえるシンポジウムを開催。第二部では、 塩原市在住の大橋グレース愛喜恵さんら士の玉木幸則さん、同じく出演者で那須 ッションを行った。 をお招きし、 きる」に出演の障がい当事者で社会福祉 第一部では、 「共生社会のあり方」を考 NHK教育「きらっと生

い」などの反響があった。 トは大盛況。 障がい当事者の方、 七〇名を超える参加を得て、 参加者からは「このように をもっと開催して欲 地域の方、 学生な イベン

共生カフェは今後も開催していく予 ぜひ皆さんも参加してください

# 小中学生対象の福祉教育医療福祉学部

員と関連施設職員、祉について考えても 教育研究会」主催による「中高生が考え 議会の職員の方で結成した「大田原福祉 た田原市の中高生に自分

大田原の街での講義に始まり、 一〇月に四回にわたって実施した。 る福祉のまちづくり、n大田原」を八月 講座は、本学部教員による福祉につ 大田原市社会福祉協 い当事者の方と

学生のアイデアから生まれた交流の



て、それら

ク、そし

こと」六か条を提言書にまとめ の津久井市長に提出した。 「私たちにで 大田 原

市

かけになったと感じた。り、中高生が身近に福祉を理解するき 感じた所がたくさんあった。整備も良く もきちんとして欲しい」などの感想があ して欲しいけど、まわりの人々のマナ る方たちとい 参加した中高生からは、 普段慣れているところでも危ないとがたちといっしょに街を歩いてみたが加した中高生からは、「障がいのあ

していきたいと考えている 今年度の反省を活かし、 来年度も継続

た。

動物慰霊祭

金)

考えてもらおうと、本学部教の中高生に自分たちの街の福 員・院生・

霊を目的に験動物の慰 究などで使 用された実 卒研生の研



科、作業療法学科、基本年度は教職員、 の上旬から中旬に行わ れて いる

後にマ き入った。最講話があり参列者一 桃井隆教授による「言語と死―言語障の挨拶に続き、基礎医学研究センター 実験委員会委員長である開原成允副学長わせて三百数十名の参加があった。動物 と自閉症モデル 同、興味深い話に聞 院生等)

ンドなどを備えていは、体育館やグラウ

る。

堂、

大浴場、

テ スルー



んで改めて命の大 (基礎医学セ 切さを認識

毎年一二月 マウスの解析」と題する -|言語障害 療法 合 学

命に対する思いを新たにする参加者

たことと

療学部・薬学部における学生実習や教職霊祭が開催された。動物慰霊祭は保健医霊祭が開催された。動物慰霊祭は保健医 午後六時、 からF 最後のご挨拶となった開原委員長 セミナーハウスの内原市に開設した那須一月八日、那須塩 覧会・開設祝賀会が 大田原キャンパス れた。

筋コンクリート三階間学園を承継した鉄 建ての施設である から車で三○分ほ スルーム、六四卓の4つのカンファレンー六の宿泊ルーム、 旧足立区塩原林



約27,000坪の広大な敷地

民との交流の場のほか、地域住 研修、合家長が挨拶し 式では、 高木邦格理事長、 学生 教  $\hat{o}$ 北島政樹学

唄に合わせて9人が細い杵

指定無形

地元の栗川仁那べた。続いて、

ていきたいと述

らには、余興として、

須塩原市

長から来賓

民俗文化財の福原餅つき唄保存会による 大田原

餅つきが披露された。 (東京事務所広報室)

# 

予備審査を突破し、本大会に年に引き続き多数の応募があり のテーマは "The Turning Point," 大に開催された。第一四回を迎えた今年 学長杯英語スピ 々は次の通りである 年末の恒例行事となっ チ 本大会に出場 コンテスト」 (発表順)。 厳選な が盛 昨

2

MUNKHSAIKHAN ,Bayarumaa

**(**看

① FADILLAH, Tety(理学三年) インドネシアのじゃんけん

特別部門を表に加えて

本年度は

の

作業療法学科 講師リハビリテーション学部

【特別部門】

②常盤正浩 (福祉三年)

Senile Abuse

(3)

KEOMANY, Paloma

(福祉・マネ一年)

ーチが行わ 本語のスピ

生による日 設け、留学

介 すばらしいスピーチを披露した留学生の皆さん

二八〇〇円+税 スナイダー著 野村恭彦監修 アイダー著 野村恭彦監修 ドマクダーモット、ウィリアエティエンヌ・ウェンガー、

修デ

ドイン・M・バーバー バーバー

**『コミュニティ・オブ・プラクティス』** 

オスと日本につ

いて

な日本語で 流暢

モンゴル相撲

## - チ部門]

大森友季 (薬一年)

Go Forward! Kote, Men, Doul

という夢を流暢な英語で表現し優勝し母国であるミャンマーに学校を建てたい

大会にも出場した Han

Ni Htun

ŋ

上がりをみせた。

最後に、北島学長より、

本コンテス

介だったと思う。

部門

では、

昨年に

引き続き さんが

し、聴衆を熱気の渦に巻き込み大変な盛それぞれの母国の現況や伝統文化を紹介

あった。不安でひきつった顔を見かねての紹その責任と運営に途方に暮れていた時期で私はある活動グループの長になってしまい、

った。お調子者で「NO」と言えなかった知人の作業療法士から紹介されて手に取

中麻里奈(言語一年)

My Turning Point for the Future ③ Han Ni Htun(放射二年)

ドのマザー

マザーテレサ施設を訪れたときの貴二位に輝いた利根理絵子さんはイン

った。その中で、sincerity、efforts、そのテーマである《The Turning Point》

めていく集団である。そして、この集団は識や技能を、持続的な相互交流を通じ高問題、熱意などを共有し、この分野の知問題、熱意などを共有し、この分野の知いはあるテーマに関する関心やコミュニティ・オブ・プラクティス(実践ココミュニティ・オブ・プラクティス(実践コ

A Wish for World Peace

野村沙織(薬一年)

Town

スに送られた。コンテスト参加

出場者全員が本コンテス

-参加者、

して patient という三つのキーワ

がそ

A Teacher from a Small ⑤利根理絵子(看護二年)

【暗誦部門】 My Life's Foundation

(作業一年)

Song of Myself by Walt Whitman

②靍見藍 (看護二年) The Stolen Generation by Kevin Rudd

Song of Myself by Walt Whitman REN, Irin(放射一年) (作業一年) Hansel and

Gretel by Jacob and Wilhelm Grimm (薬二年)

【プレゼンテーション部門】 Alice's Adventures in Wonderland

Contact with In-patients 松本佳展(薬五年) New Phase II.



スピーチ部門で優勝した Han Ni Htun さん

重な体験を題材とし、三位の野村沙織さんは塾の先生との出会いが人生に与えた水井佑佳さんがアメリカの詩人 Walt Whitman の代表作「Song of Myself」を表現力豊かに語り観客を魅了した。まを表現力豊かに語り観客を魅了した。するないが人生に与えたい。 浩さんが高齢者虐待 の現状に ついて報告

に違いな

では、本書はこれにもう少し、いやか行ったが、本書はこれにもう少し、いやかいに集団を成熟させ目的を介、何よりもいかに集団を成熟させ目的を介、何よりもいかに集団を成っている。集団なり、具体的な戦略が含まれている。集団なり、具体的な戦略が含まれている。集団なり、具体的な戦略が含まれている。集団なり、具体的な戦略が含まれている。集団なり、具体的な戦略が含まれている。

ここに

とし

暗誦部門優勝者の永井さんと北島学

ね、このよう トに向け、

な素晴らしい

コンテ

忍耐の上に誠実に努力を重

昨年「もしドラ」というビジネス書が流種委員会等である。

種茶がでんだまで、 サークル、 そして 全社はもちろん学友会、 サークル、 そして 全様々な団体に当てはめることができる。 会様々な団体に当てはある。 そして、 この集団は

た

衆として参 て、また聴 コンテスタ

諸君、また の意を申 ご尽力いただい

先生

コミュニティ・ オブ・ ブラクティス

プを振り返り、

チェック材料としている。時折手に取り自分とグル

私はまだ十分に読みこなし実践はできて

し上げたい た審査員 0

(総合教育センター ・語学教育部)

## 那須セミナーハ ウス開設祝賀会

16

## 卒業生·留学生 学生 通信

同じ在学生ですが、 信する人たちがいます。そこで今回は、て、その現状や展望などを広く社会に発 1々我々が提供する医療・福祉についり上げられない日はありません。テレビや新聞、雑誌などで医療・福1 ナリズム分野で学ぶ先輩から を紹介しま 、大学院の医療福祉ジます。そこで今回は、 0) 福祉

# 博士課程|年 | はまざまな媒体の特色を知り

神保康子さ

h

た。

知ったこと とめます して法則を見つけて、 が修士 私たちの たことからさらにその 取材対象を絞り、 0 修了 コ 要件です ス は、 課題 版できる形にま ) 先へ…… テ 「作品」 した中で を自己 づ そ 分

ます。

でのプライバシーへの配慮かにつけて試行錯誤です。 距離の取り方、 ラ ンスで仕事をしてい 官庁取材など、 への配慮、 医療 取材対象と ると、 本当に 何





ろです。 指導のもと、

づくりに励んでいこうと

とが 別の質問に対する指導や、よるご指導はすばらしい。 くことのできない話をしてくださリストとしての体験など、ここで ゼミで心構えからノウハウまでを学ぶこ なることもしばしば。このやり方でいいのだろうかと、 も医療・福祉の現場でおきて しまったときのフォロー、 ズムの世界で活躍なさって ジ しかし、新聞やT でき 患者の立場から見た問題、 リズムって何? 多彩なゲストの先生方 しいものいさってい 雑誌ジ てくださいまし 普段の講義や 行き詰まって でし る教授陣に いう状態だ ジャ いること

や

できました。「興味あるテー る貴重な体験でした。 いかけられるって気持ちい ます。他分野もふくめ、さらに深めたいと、博 きました。「興味あるテーマについて追た私も無事に修士過程を終えることが 博士課程に進んで 地道に真剣に、 11 思え 独

社会経験を持ったクラスメイトとざまな年代の、異なるバックグラ 報交換をする中で、 仕事を持ちながら、 とはないと思えるこのごのに比べたらたいしたこの大変さも、得られるも 整をしつつ勉強すること 新たに見えてくること

からも先生方のご 新たな作品

ざまな年代の、異なるバックグラウン仲間との出会いも、大切な宝物です。自のテーマで作品づくりや研究に取り トと意見・情 時間の調 ウンド さま



組む



撃しています。 鄭:博士課程への進学な ●四月以降の予定は? す。 金

メッセージをお願 ●最後に、後輩のSR職が内定していませ ジをお願いしま後輩の留学生に

いると思い を持 心います。

金 道 は 開 け 7 いがんばりましょう。ができると思います。お互がにきると思います。お互 習慣の違 をたくさん作 鄭 そうす **タれば、職場の環いに慣れてくださ** って、 て、文化や てあ 必ず

: 千葉県にある病院の就 進学を希 実習 ح き 0) 0) パーティ後の大写真撮影会

# 神保さん 清水陽一先生の講義

国際医療福祉大学同窓会

ママ

ロニエ会」

総会

•

幹事

会開

催

坂・クリスタ のぼるこうし である。

**、**した大規模な開催はヘヘタルパレスにおいて

催は今回が初れる

め名

盛況な懇親会。マロニエ会の今後の発展を誓い

スタ

グ

ランド

て、『リンス

『同窓会総

横塚記代

学

代表幹事、

北の

島政樹学長が

司

0)

## 不安に 留学 生紹介コ

ナ

ツ 金

選手のケアに携わるチャンスがあるP:私はスポーツが好きで、プロスポー

ったくてI

一番楽しかった思い出は?

おける、国際交流の一大イベントとして方々が参加する盛大な会でした。本学にじめ、二一の国と地域カ・ て恒例 昨年 、二一の国と地域から一三〇名のた。津久井富雄大田原市長その他は例の国際親善パーティーが開催され年一二月一日、大田原キャンパスに

●在学中、一平 がったです。 かったです。 かったです。

勉強にもなるし、 な学会やセミ

-に参加し

ったです。いろな街を見ることがで

きてとてもよ

勲(ジョン・チャンフン)さんと保健医療学専攻・理学療法学分野の鄭昌出などについてインタモ 出などについてる韓国からの空 今号では、 医療と見て 聖な ………を放とする。というの留学生二名に大学での思い国からの留学生二名に大学での思いまてに 三月に本学を卒業・修了す

● 反対に、

反対に、一番つらかったことは? 休みの日によく行ったことです: 大学の近くには温泉がたくさん

あ

ても大変でした。

書き方が分からなくて、時、日本語でのレポート

レポ

金 い り

っました。

:私も三年

生

0)

社会とは何かについて考えるき鄭:学部時代の実習がつらかっ

て考えるき

ったです。

ヨ療ン学

ス

さ

鄭昌勲〈ジョン・チャンフン〉さん

金炳秀(キム・ビョンス)さん

HWを選びました りたきっかけは2 ・ジョンさんとも :を選びました。 先進医療技術を学びたくてこの んとキ ムさんが 本学に進

## 鳩山幸氏には懇談会のステージ で花束が贈られた

学部別の受付では時折歓声も聞かれた

上田清史・副代表幹事

二峰正年・副代表幹事



挨拶のあと、ステージで花束を 受けとる荒井先生



笹沼先生を取り囲んだ教え子の 輪が一際大きかったのが印象的 だった



広報誌 IUHW の兄弟特集の1回目 を飾った及川さん兄弟と高木理事長 学科代表幹事が集合して記念撮影



Ⅰ 大学の歴史(6-1)

大学創成期~初代学長~

995年、「保健学部」をもって関学。(1学部5学科

大谷藤郎初代学長の思いを紹介する高木理事長

続いて、高木邦格理事長が『大学創設時の思い、今、そして未来への展望』と題して記念講演を行った。本学創設準備期に遡って、関係者の思いやエピソードなどを熱く紹介する内容で、本学が建学の精神として掲げる「共に生きる社会の実現」がどのようにして生まれ、それがいかに先進的で崇高なものであるかを改めて胸に刻むことになった。

○宣都大学等学品の。 ○元第文章高限長高、心セン側の人権基 第の指導電池とで実際にも知られる。 ショ東電池のアールを定といわれる研究の 1993年度によったナール電車、 1993年度によったナール電車、 2006年以下によった少・供着電気を重動 への取り場合に対抗、「第21回車車の接工会 人権高・実産。

『平成二二年度

『大学の歴史~ 表幹事の司会に

第二部は 谷合作

大谷藤郎

・前首相夫人による特別の同窓生の強い希望で実

になっても遅すぎる、自分が変わること、気がついた。の生い立ちや







医療経営管理

学が

登壇し、学科幹事を代表し、医療経営た、同窓会活動の中心となる学科幹事の大学院院長による来賓挨拶が続い

谷

長を

はじ

め歴代各学科

:長など

同窓会総会のお知らせなど誌面の都合により 本号では学生投稿ページをお休みさせていただきました。 85号に向け次のテーマで原稿を募集します。 -マ:部・サークル紹介

4月中旬発行予定。新入部員募集にぜひご活用ください。 部員数が少なく存続の危機であるとか、ユニークな活 動を行っているが知名度が低いなど、悩みを抱えてい る団体からの投稿も大歓迎!

原稿:400字程度。イラストか写真を添付 募集締切:3月11日(金) 投稿先:大学総務課(tel:0287-24-3000 fax: 0287-24-3100 mail: soumu @ iuhw.ac.jp)

※採用された団体には、図書カード(2,000円)を進呈します。 ※投稿者多数の場合は、掲載できない場合もありますのでご了承ください。



## 

スマート・エイジング

医療福祉チャンネル774では、スカパー!の774チャンネルで、医療・福祉・健康・介護に関する教育、教養、情報番組を放送!

## ボイス~医療の扉をノックする~

● Cチャンネル配信

## 石川誠(初台リハビリテーション病院理事長)

石川誠医師は、「回復期リハビリテーション」の生みの親 と言われ、長嶋茂雄監督やオシム監督の主治医としても知 られています。脳神経外科医として日々最先端の手術を行 っていた石川医師が、なぜリハビリテーション医療の道に 進んだのか、回復期リハビリテーションとは何なのか、リ



ハビリテーション医 としてこれまで何を やってきて、これか ら何を目指すのか、 たっぷりとお話を伺 います。

石川誠氏



好奇心で繋がり、お

互いを支え合う「地

縁社会 | を実現(世

代間の知恵の共有)

することが、目指す

ところです。

## 黒岩祐治のメディカルリポート

## 助産師に今求められるもの

川島隆太氏 (東北大学加齢医学研究所)

助産師は女性のみの国家資格で、助産や妊婦、出産後間 もない女性、新生児の保健指導を行い、開業権が認められ ています。今回は、病院内で助産師が独立して出産を行う 「バースセンター」を取材。質の高い助産師の活躍が産科医 療崩壊を食い止めるか、その可能性を探り、助産師教育の

第45回日本理学療法士協会全国学術研修大会 🚆 🖽 田本田 単一 日本理学療法士協会全国学術研修大会

スマート・エイジングとは、エイジングによる経年変化 に賢く対処し、個人・社会が知的に成熟することです。高

齢期を知的に成熟する人生の発展期として積極的に受容

し、加齢と共に人生が豊かになっていくことを実感しま

す。その結果、老若男女を問わず世代を超えて誰もが知的



充実を図るため の課題について 議論しました。

## 講演を聴こう

## ハカルことで分かる尊厳ある排泄ケア

食事と入浴、排泄は三大ケアと呼ばれます。中でも、排 泄ケアは本人の尊厳を失わずに老後を暮らすには、とても 重要なケアです。認知症の方を、どのように全人的に見た らよいのでしょう。排泄からリハビリへの転換を可能にす



るケアを目指し、 自分がして欲しい ケアの姿を田中と も江氏(拘束廃止 研究所所長) は求 めます。

田中とも江氏

## ●お問い合わせは

フリーダイヤル 0120-870-774 (株) 医療福祉総合研究所 お客さま係 Eメール info@iryoufukushi.com

HP http://www.irvoufukushi.com

〒107-0062 東京都港区南青山1-3-3 青山一丁目タワー 4階

774視聴者特典のおしらせ(個人契約に限ります)

医療福祉 Θ チャンネル http://www.ch774.com

無料配信中

## 広報誌 IUHW 84号

## 発行:学校法人 国際医療福祉大学

〔大田原キャンパス〕広報委員会

栃木県大田原市北金丸 2600-1 ☎0287-24-3000

〔小田原キャンパス〕

神奈川県小田原市城山 1-2-25 ☎0465-21-6500

〔福岡天神キャンパス〕

福岡県福岡市中央区長浜 1-3-1 ☎092-739-4321

〔大川キャンパス〕

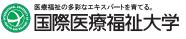
福岡県大川市榎津 137-1 20944-89-2000

〔東京事務所〕広報室

東京都港区南青山 1-24-1 ☎03-5775-2505

デザイン:iDept. 編集:東京事務所広報室

© 国際医療福祉大学 2011 Printed in Japan 禁無断転載・複写



## お知らせ

レギュラー出演者

**IUHW Hot News** 

## 学位記授与式、入学式のご案内

平成22年度 学部学位記授与式並びに 大学院学位記授与式の日程

●大田原キャンパス

日 時:平成23年3月15日(火) 10:20~ 会 場:那須アスリーナ1階

●小田原キャンパス

日 時:平成23年3月19日(土) 10:20~ 会 場:6F体育館

●大川キャンパス

日 時:平成23年3月12日(土) 11:00~

会 場:図書館棟 講堂3F

●塩谷看護専門学校

日 時:平成23年3月4日(金) 10:00~

平成23年度 学部入学式並びに 大学院入学式の日程

●大田原キャンパス

日 時: 平成23年4月4日(月) 10:20~ 会 場:那須アスリーナ1階

●小田原キャンパス

日 時:平成23年4月5日(火) 10:40~ 会 場:6F体育館

●大川・福岡天袖キャンパス

日 時:平成23年4月6日(水) 時間未定

会 場: 図書館棟 講堂3F

●塩谷看護専門学校

日 時:平成23年4月6日(水) 10:00~